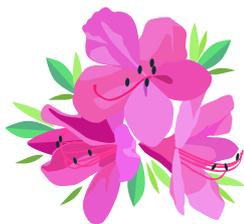


学科近況

メディア学科では4月に42名(内13名女子学生)の新入生を迎えます。舞鶴高専から男子学生が3学年に転入学してきますので、在生にはとても良い刺激になると期待しています。また、教員の側では3名の教員が着任しますが、一人はタイ出身、一人は中央アフリカ共和国出身です。これらの先生との付き合いを通して学生の視野が地球規模に広がってくれることを期待しています。来年の3月頃から企業の就職面接等が始まりますが、沖縄高専では就職委員会を発足させ、就職に向けて様々なサポートを行っていきます。

(学科長・角田正豊)



各学年の話題(3年生)

1年間の特別活動を振り返って

本校の1～3学年までは、特別活動(通称「ロングホームルーム」と呼ばれる授業が学級単位で行なわれています。3年メディアでは年間32回にわたり特別活動が実施されました。学則の上では、特別活動の合格は進級の必須条件(「沖縄工業高等専門学校学業成績の評価並びに学年の課程の修了及び卒業の認定に関する規則」第14条2項)となっていますが、特別活動の目的や評価方針(現在評価項目はなく規定の日数出席すれば合格となっています)は明確に示されていません。基本的には、個人面談、席替え、教室の掃除に関する話し合い、高専祭の準備、レクリエーションなど、学級と所属する個々の学生のために特別活動の時間を充ててきたつもりではありますが、実際には、明確な計画のないまま、学校・学科が行なう種々のアンケート調査、身分証明書の写真撮影、など果たして特別活動として行なうべきことかと懐疑的にならざる

を得ない雑多な用事を特別活動の時間を利用して行なうことも多々ありました。このことは、今後学校として現状について再検討し、改善すべき点は改善すべき問題であろうと思います。とはいえ、特別活動は学級単位でひとつのことに取り組む唯一の時間であり、担任にとってはクラスルームで学生と共に過ごし学級の雰囲気を知る重要な機会のひとつでした。第4学年からは、この特別活動および朝のショートホームルームはなくなり、担任が学級に顔を出す機会はほとんどなくなることが予想されます。学級の中の様々な問題を解決するためには、担任を担当する教員の側にも、学生の側にも、新たな意識と工夫が必要となって来るでしょう。ご家庭におかれましては、学生自身の問題についてはもちろん、学校側の問題点についても疑問・不満・要望など、どのような小さなことでも遠慮なく学校側に相談していただきたいと思っています。最後になりましたが、担任として1年間3年メディアの学生達と楽しい時間を過ごすことができ幸せでした。学生達の1年間の努力に拍手を、保護者の皆さまのご協力に感謝を、そして学生達の益々の成長に心からの応援を捧げたいと思います。

(3年学科担任:西村篤)

4学年進級に備えて...

寮外生の通学と生活の安全について

寮からでる学生にとって、気をつけて欲しいことの一つは自宅やアパートから車両で「通学」することです。沖縄県は、渋滞がひどく若者の交通事故死亡者数が多いところです。「渋滞に巻き込まれて遅刻しそう」とか焦りながら無理な追い越しやスピードの出し過ぎは絶対にしないでください。うちなーな心(?)を忘れず、ゆとりを持って安全運転を心がけましょう。特に、試験や大事なときはさらに余裕をもって出発しましょう。「道が渋滞していました」は遅刻の理由になりませんからね。そして、もう一つが食生活です。自宅から通学する人は食事の問題は少ないでしょうが、アパートなどで一人暮らしをする人は、健康管理と食生活に気をつけてください。アパート暮らしの人は、近くに病院や薬局を事前に確認するといいいでしょう。また、コンビニ弁当やファーストフードでは体が持ちません。学校のレストランを活用して栄養のバランスを整えてください。もちろん自分で弁当をつくるのもOKです。安くつくまじし、分量・栄養バランスなども自由がききます。ただし、夏場は腐りやすいので梅干しなどをい

れて防腐対策をしてください。(自分は、沖縄にきて弁当がすぐに
ダメになることをものすごく体験しましたので……)

(学生主事補:奥田篤士)

写真特集(3年LHRの活動から)

ちょっと古い写真ですが、7月12日に行なわれたバスケットボールの様子です。



学級委員長が事前の説明



チームで列を作ってお行儀よく座っています



準備運動はしっかり



気合を入れて試合開始!



白熱するゲーム



スコアはまかせて!



トーナメント方式で計画的に試合を進める学生たち



編集後記

今年度は2号しか発行することができませんでしたが、次年度は3学年・4学年の話題をできるだけ多く掲載した紙面で年間4号を発行して、学校の雰囲気をご家庭に届けることができればと考えています。学科通信に関するご意見ご要望などがありましたら、編集担当者までお寄せ下さい。

編集担当者連絡先:

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905
沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 西村篤
電話 0980-55-4177 ファクス 0980-55-4012
電子メール nisimura@okinawa-ct.ac.jp